

7月30日の「(仮称) 石畳通りの会」の会議では、7月6日に行われた「豊中駅前七夕まつり」での企画「豊中一!? 大きな短冊をつくろう!」についての振り返りを行い、今後の活動の方向性などについて意見交換を行いましたので、その様子をお知らせします。

また、急な話にも関わらず、カンパなどでご協力いただいたお店の方々にはお礼申し上げます。ありがとうございました。

#### ◆企画の振り返り

- ・何かやってみようと思ったから、1か月弱で話を進め、一応かたちになってよかった。
- ・急な話にも関わらず、沿道の店舗など18店舗からカンパが集まった。この会に出席しておられないお店からも協力いただいた。
- ・お店のお客さんに頼んで、短冊を書いてもらった。お客さんも楽しんでくれていた。
- ・お客さんもお店も趣旨は理解してくれていると思う。
- ・急に決まったこともあり、復唱・伝達・確認が不十分なところもあった。次に何かやるときはこのあたりをきちんとすべき。
- ・当日、短冊を書きながら、「こんなお店があったんだ」というお客さんもいた。お店や通りを認識してもらう機会としてはよかったのでは。
- ・沿道の店舗の業種も営業時間も違うので、一緒に何かをやるのは難しい部分もあるが、メインの通りで一緒にやれることがあればいい。同時に動くのは難しいが、横のつながりをつくるように、他のお店に声をかけていけるような取り組みを考えていくことも重要では。

#### ◆今後の取り組みに向けて

- ・地域のイベントと連動すると人に来てもらえるということが分かった。こういう取り組みは今後も続けていってもいいのでは。例えば、9月には以前も豊中駅前で行われた NFT が企画されている。10月には稲荷神社のお祭りもある。そういったものと連携・連動するのも一つのやり方。
  - ・お店側としては、労力に比して利益が上がるかどうかも重要。
  - ・住民の人たちの楽しさとお店側の思惑が重なるようにしていくことが重要。
  - ・「安全な通りにする」という大きな目標はみんなが賛同するところだが、どこから進めていくか。
  - ・安全な通りにすることで、人が通りやすい通りになると、沿道のお店も知ってもらえる機会が増えることにつながっていく。
  - ・箕面街道を歩くより安全だと思う。歩行者にそういう認識を持ってもらえるかどうか。
  - ・歩行者からすると、ちょっと危ない思いをすると、「通りづらい」と敬遠しがちになる。それをどう「通りたい道」に印象を変えていくかも大事なことではないか。
  - ・「悪い通りではない」状況から、「良い通り」、「歩行者優先の通り」にするにはどうしていくか。まずはこの通りの実態として、いつどのくらい車や人が通っているかの交通量調査をしてはどうか。
- 次回の会合までに調査を実施し、次回の会合で、調査結果をもとにどのような活動や取り組みができるかを検討することになりました。

2025年9月10日(水) 14時~15時 場所: 喫茶ぽえむ

※2か月に1回程度、14~15時に集まって、この通りのあり方や今後の取り組みについて意見交換をしています。(基本は第1水曜) ご興味のある方は、ぜひご参加ください。